

輝け！シン尾花沢中

第 1 2 1 号

令和 7 年

11 月 7 日

長根の山の ふもとはら 遠いゆかりの おもだかの

スペシャルデーでよりいっそうの国際交流を！



本校勤務の ALT ジェイスン先生に加え、市内の他の学校に勤務している Diana（ダイアナ）先生、Joshua（ジョシュア）先生も入った ALT スペシャルデーが、6 日と 7 日の 2 日間行われました。ダイアナ先生とジョシュア先生の 2 日間の感想を紹介します。

- The students were fun to work with. They were friendly and kind. It was always enjoyable to interact with the students and teachers. I'm glad that we have Special Day in Obanazawa. -Diana
- I really enjoyed my two days with the Obanazawa Junior High School students. All of the grades were really fun to talk to. I appreciated the enthusiasm from the students when they try to talk with us, as well as when they say hello in the hallway and in the morning. Overall, I thought the students have a good understanding of English. -Joshua

ちょっといい話

尾花沢中の職員玄関がオートロックになって約 1 カ月が経とうとしています。

オートロックになったことにより、来校者の方はインターホンで職員に来校したい旨を伝え、ロックを解除している間に中に入るという仕組みになりました。しかし、慣れないこともあってか、戸惑う方も少なくありません。

先日、このオートロックに関わり、尾中生が来客者からおほめの言葉をいただいた、といううれしい話を聞きましたので紹介させていただきます。

文化祭準備期間の放課後に、用事でいらした方が、中に入るタイミングを逸して、職員玄関前で戸惑いながら立っていたそうです。すると、その様子を見ていた尾中生（3 年生）が「何かお困りですか」「どなたに用事ですか。〇〇先生を呼んでできますか」と声をかけてくれたそうです。校内に入ってから、廊下で会う尾中生が「こんにちは」とあいさつしてくれたそうです。

「大人に対して、こんなにさわやかに対応してくれる中学生がいるのか」といなく感心して、帰っていかれました。

「誠実：他人の心の痛みが分かる尾中生」「活力：他人の役に立つことに喜びを感じる尾中生」が育っていることを、うれしく思った 1 日となりました。

【文責：校長 工藤雅史】

